

西別府病院で結核の治療を受けられた 患者さんへのお知らせとお願い

当院では、「結核病棟における NST 介入の実態と提言実施状況に関する後方視的研究」を行います。

● 研究の目的・背景

結核は慢性的な炎症や長期療養を伴う疾患であり、体重減少や低栄養を呈しやすいことが知られています。入院中も食欲低下や活動量低下、薬剤による消化器症状などにより栄養状態が悪化する患者は少なくありません。栄養サポートチーム（Nutrition Support Team：NST）は、多職種による栄養管理を通じて栄養状態の改善や合併症予防を目的とした医療チームであり、その有用性が報告されています。結核病棟においても NST 介入の有益性が示唆されていますが、NST における介入内容や提言実施状況に関する報告は少ないです。

この研究は結核病棟入院患者における NST 介入の実態を調査し、提言内容の分類、提言実施状況を明らかにするとともに、栄養状態への影響を評価します。

● 研究の参加について

診療録に記録されている結核病棟に入院された患者様の臨床データを使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。また、ご自分のデータが研究の対象となると思われ、研究に使用してほしくないとお考えになる方は、以下の連絡先までご連絡お願いいたします。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。未成年者の方や現在ご自身で研究参加の判断が難しいと考えられる方においては、家族や親族等からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対してもご対応いたします。

● ご協力頂く内容

対象期間中に記録された診療情報（年齢、性別、身長、体重等）・検査結果（血液検査等）などを、研究に使用させていただきます。

研究課題名：結核病棟における NST 介入の実態と提言実施状況に関する後方視的研究

- 研究期間：2025年12月1日～2026年3月31日
- 研究の対象となる方：2025年12月1日から2026年3月31日の期間に西別府病院にて結核の治療を受けられた方
- 本研究の研究代表者
研究代表者：横山 知美（よこやま ともみ）
国立病院機構西別府病院 薬剤部
- お問い合わせ先
国立病院機構西別府病院 薬剤部 横山 知美（よこやま ともみ）
〒874-0838 大分県別府市荘園町 73 番 8 号
TEL 0977-24-1221(代表).FAX 0977-26-1163(代表)